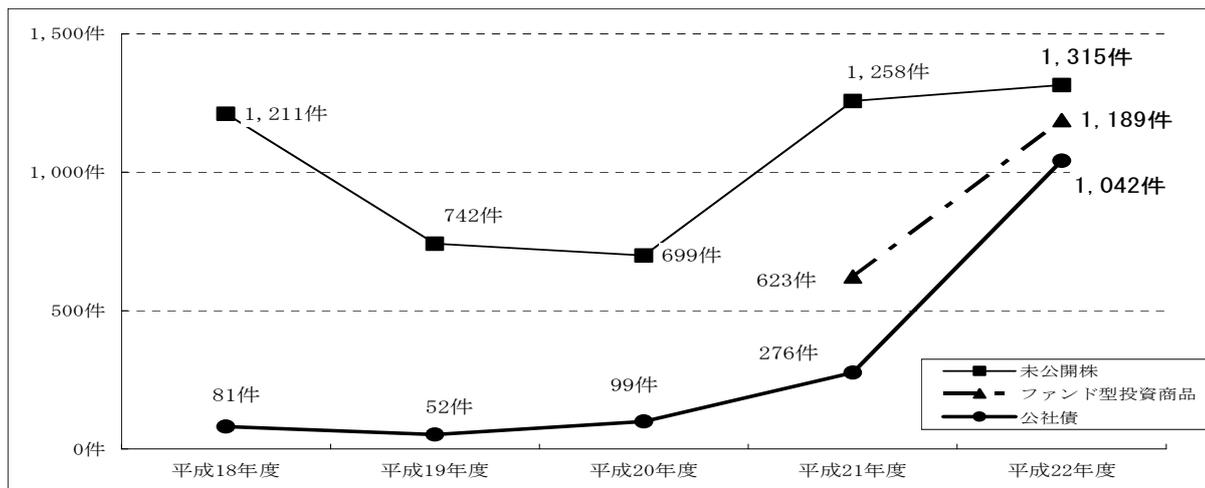


## (2) 増加の目立つ金融商品に関する相談

① 平成22年度に寄せられた相談では、特に「公社債」「未公開株」「ファンド型投資商品」に関する相談の増加が目立つ。

- ・「公社債」に関する相談は1,042件寄せられ、前年度に比べ約3.8倍（277.5%増）と大きく増加した。
- ・「未公開株」に関する相談は1,315件寄せられ、前年度に比べ4.5%の増加であった。
- ・「ファンド型投資商品」に関する相談は1,189件寄せられ、前年度に比べ約1.9倍（90.9%増）となった。（図-4）

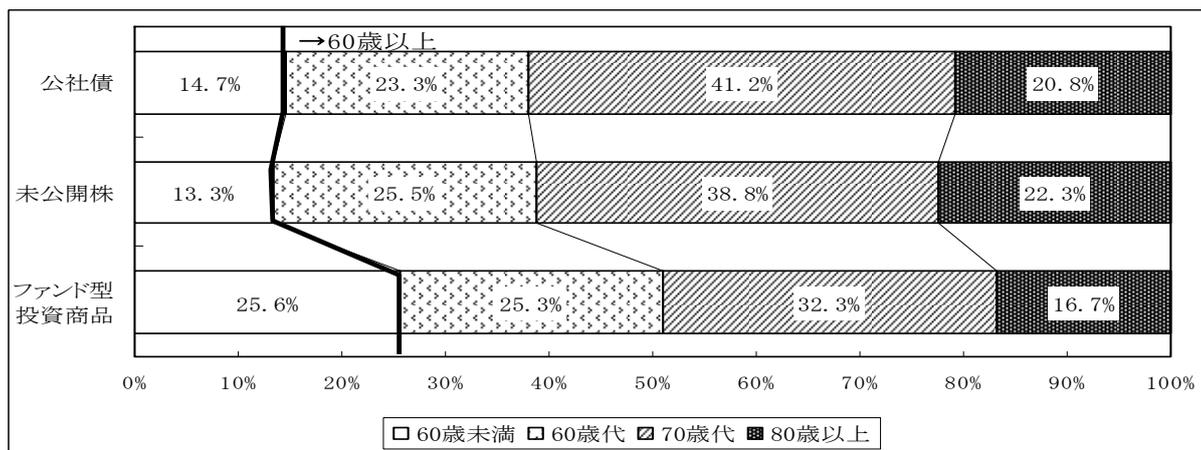
【図-4】「公社債」「未公開株」「ファンド型投資商品」に関する相談件数の推移



※「ファンド型投資商品」のキーワードは平成21年度から新設されたものである。

② 契約当事者の年代をみると、60歳以上の高齢者が8割程度を占め、70歳以上では5割から6割程度を占めている。（図-5）

【図-5】「公社債」「未公開株」「ファンド型投資商品」に関する相談契約当事者年代別（平成22年度）



※年齢不明を除く

※公社債：社債、公共債等

※未公開株：取引所に上場されていない株式で、証券会社に取り扱うことが認められている株式（グリーンシート銘柄）以外のもの。

※ファンド型投資商品：商品ファンド、組合型ファンド等、運用者への出資により利益を得るもの。